

令和 7 年度 屋久島西部地域における計画捕獲の実施結果（速報値）

環境省九州地方環境事務所

1. 目的

- ・西部地域瀬切地区の植生回復を目的に、囲い罠による計画捕獲を実施。
- ・5頭/km 以下を目安に、多頭捕獲を目指す。

2. 実施スケジュール

令和 7 年 7 月	給餌・捕獲実施	7/26～8/15
9 月	給餌・捕獲実施	9/11～9/26
11 月	給餌・捕獲実施	11/10～11/23
令和 8 年 1 月	給餌・捕獲実施	1/10～1/25
3 月	給餌・捕獲実施 (2 週間の給餌中に 1～2 回 予定)	

3. 実施場所

西部地域瀬切地区の瀬切大橋西側の道下及び道上で実施。

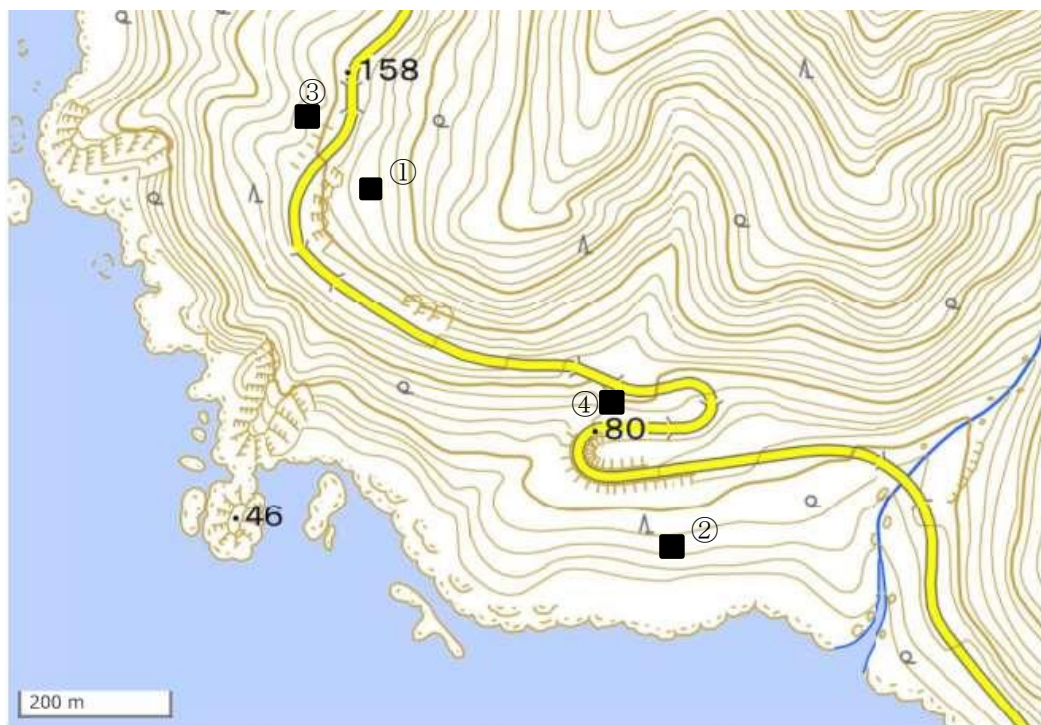


図 1. 瀬切地区の囲い罠設置位置（■は囲い罠位置）

4. 囲い罠の仕様等

●既存の囲い罠（囲い罠①、②）

囲い罠は令和2年度に設置したものを使用し（①は令和4年度に移設）、捕獲ゲートとして和歌山県果樹試験場で開発された「潜り込み式獣類捕獲用ゲート」（特許第7019133号）を使用した。

●囲い罠（囲い罠③、④）

令和6年度に設置した「立木（りゅうぼく）ネット囲い罠（愛知県農業総合試験場 西村研究員が開発）」を使用した。

5. 止め刺しについて

囲い罠①、②については、従来の電殺器による止め刺しに加え、9月から空気銃による止め刺しを行った。

空気銃による止め刺しでは、ヤクシカが囲い罠内を激しく暴れたりや声を発したりせず、安全に速やかに止め刺しを行うことができた。このため捕獲作業が周辺のヤクシカへ与える影響も低く、継続的な誘引を行うことができた。

6. 捕獲状況（1月中旬現在）

1月中旬までの捕獲状況では合計23頭捕獲した。捕獲した翌日も連続して捕獲できており、周囲のシカの警戒心を最小限にとどめていると考えられる。また8月と9月で8頭捕獲できており、冬以外でも十分誘引効果があると考えられる。

表1. 令和7年度捕獲状況

日付	囲い1		囲い2		囲い3		囲い4	
	オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス
8/1	0	0	0	0	1	0	0	0
8/13	0	1	0	0	0	1	0	0
8/15	0	0	0	0	1	0	0	0
9/25	0	0	0	0	0	0	0	2
9/26	0	1	1	0	0	0	0	0
11/16	0	0	0	0	0	0	1	0
11/20	0	0	0	0	1	0	0	0
11/21	2	0	0	0	0	0	0	0
11/22	0	0	1	0	1	1	1	0
11/23	0	0	1	0	0	0	1	0
1/16	0	0	1	0	2	0	1	0
1/21	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	2	2	4	0	7	2	4	2

表 2. 参考：過年度捕獲状況

年度	オス	メス	合計	合計誘引期間	罟数
令和 2 年	18	6	24	9 週間	2
令和 3 年	10	3	13	9 週間	2
令和 4 年	8	14	22	6 週間	2
令和 5 年	7	4	11	6 週間	2
令和 6 年	13	11	24	6 週間	4
令和 7 年	17	6	23	8 週間	4
合計	73	44	117		

7. 課題

立木ネット囲い罟について、捕獲頭数が多いものの、屋久島においては以下の課題がある。

- ・ネットの目合いが大きく、ヤクシカの首や角が絡まってしまう。
- ・設置の際に地面にペグをたくさん打ち込む必要があり、岩の多い屋久島では設置が困難。

8. 今後の方向性

- ・立木ネット囲い罟の使用を中止し、従来の形状の囲い罟を増設する。
- ・複数の囲い罟をローテーションで稼働させ、多頭捕獲を目指す。